



## 明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー

生産

- 【資料名】** 八反取り(人力用水田除草機)  
**【年代・来歴】**  
**【寸法】** 全長 166cm  
**【保存状態】** 概ね良好

【画像】



### 【略説明】

八反取りは、水田の除草に用いられた農具。柄を前後に押し引きながら前進する。水田の表土が攪拌されることで、雑草が引き抜かれ、あるいは切断されるなどにより除草を行う(中耕除草)。八反取りは明治期に考案されたといわれている。

### 【注記】

東京農工大学農学部は、明治期初期から昭和30年代までの間に使われたさまざまな形式の畜力農機具100点あまりを収蔵しており、その資料群は産業考古学会選定「日本の産業遺産300選」に選定されている。

- 【所蔵機関】** 東京農工大学農学部  
**【住所】** 東京都府中市幸町3-5-8  
**【連絡先電話番号】** 042-367-5654(農学部総務室)  
**【所蔵URL】** <http://www.tuat.ac.jp/>  
**【閲覧】** 要相談

【このページの問い合わせ先:公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 03(4334)2161】